

105-222

問題文

処方されている抗血栓薬を服用した患者にみられる血液凝固・線溶系の変化として適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 組織トロンボプラスチンの生成が抑制されている。
2. トロンビンの生成が抑制されている。
3. プロトロンビンの生成が抑制されている。
4. フィブリンの生成が抑制されている。
5. プラスミンの生成が促進されている。

解答

問222 : 3, 4問223 : 2, 4

解説

問222

シロドシン（ユリーフ）は、 α_1 遮断薬です。前立腺肥大に用いられます。ファモチジンは H2 ブロッカーです。胃酸の出過ぎを抑えます。これらに関する対応は不要です。従って、選択肢 1,2,5 は誤りです。

選択肢 3 は妥当な記述です。

リバーロキサバンは、選択的かつ直接的第 Xa 因子阻害剤です。トロンビン産生及び血栓形成が抑制されます。手術における出血リスクを増大させるため、中止が必要です。

選択肢 4 は妥当な記述です。

オルメサルタンメドキシミルは、AT₁ 受容体拮抗薬です。降圧剤です。手術による降圧リスクを増大させるため、手術前 24 時間は投与しないことが望ましいとされています。

以上より、正解は 3,4 です。

問223

リバーロキサバンにより、トロンビン産生及び血栓形成が抑制されます。血栓とはフィブリンです。

以上より、正解は 2,4 です。